

工学系研究科教授会議事要旨

日 時 2021年7月8日（木）午後2時14分開会

議題A

1. 前回議事要旨確認

2021年6月10日の議事要旨（案）を確認し、承認された。

2. 講師採用の件

マテリアル工学専攻長から、候補者の略歴及び研究業績等について説明があり、投票の結果、推薦が承認された。

3. 特任講師採用の件

応用化学専攻長から、候補者の略歴及び研究業績等について説明があり、投票の結果、推薦が承認された。

4. 特任講師（短時間）採用の件

研究科長から、当該専攻が推薦する候補者が本研究科の特任講師であることを勘案し、特例として本日投票を行わず可否を問うこととしたい旨の提案があり、了承された。次いで、特任講師（短時間）採用について説明があり、審議の結果、承認された。

5. 東京大学工学系・情報理工学系等環境安全衛生管理規則の一部改正について（資料1）

【工学部会議・工学系研究科教授会議議題A共通議題】

研究科長から、資料1に基づき、東京大学工学系・情報理工学系等環境安全衛生管理規則の一部改正について説明があり、審議の結果、承認された。

6. 寄付講座「ブロックチェーンイノベーション」の変更について

研究科長から、資料2に基づき、「ブロックチェーンイノベーション」寄付講座の更新について説明があり、審議の結果、承認された。

7. 連携研究機構「生物普遍性連携研究機構」への参画について

研究科長から、資料3に基づき、連携研究機構「生物普遍性連携研究機構」への参画について説明があり、審議の結果、承認された。

8. 令和3年度当初予算案について

財務委員長から、資料4に基づき、令和3年度当初予算案について説明があり、審議の結果、承認された。

9. その他

なし。

以上

議題B

1. 前回議事要旨確認

2021年6月10日の議事要旨（案）を確認し、承認された。

2. 准教授採用の件

理工学専攻長から、候補者の略歴及び研究業績等について説明があり、投票の結果、推薦が承認された。

3. 特任研究員（主幹研究員）採用の件

応用化学専攻長から、候補者の略歴及び研究業績等について説明があり、投票の結果、推薦が承認された。

4. 特任准教授採用の件

研究科長から、現所属講座の設置期間の更新に伴う特任准教授の再採用であることを勘案し、特例として本日投票を行わず可否を問うこととしたい旨の提案があり、了承された。次いで、特任准教授採用について説明があり、審議の結果、承認された。

5. 特任准教授プロジェクト変更の件

研究科長から、特任准教授プロジェクト変更について説明があり、審議の結果、承認された。

6. 特任研究員（主幹研究員）プロジェクト変更の件

研究科長から、特任研究員（主幹研究員）プロジェクト変更について説明があり、審議の結果、承認された。

7. 部局内クロス・アポイントメント制度適用の件

研究科長から、部局内クロス・アポイントメント制度適用について説明があり、審議の結果、承認された。

8. その他

なし。

以上

議題C

1. 前回議事要旨確認

2021年6月10日の議事要旨(案)を確認し、承認された。

2. システム創成学専攻システム俯瞰学講座担当教授に関する件(第2回)

システム創成学専攻システム俯瞰学講座担当教授について、候補者の推薦があり、これを選考するため、5名の選考委員が選出された。

3. 化学生命工学専攻化学生命機能工学講座担当教授に関する件

研究科長から、本研究科の教授が、還流人事により先端科学技術研究センターに異動し、再び異動前の職名で再採用されることを勘案し、特例として選考委員会の設置及び投票を行わず可否を問うこととしたい旨の提案があり、了承された。次いで、教授採用について説明があり、審議の結果、承認された。

4. 附属総合研究機構「i-Construction システム学」寄付講座担当特任教授に関する件(第3回)(2件)

研究科長から、現所属講座の設置期間の更新に伴う特任教授の再採用であることを勘案し、特例として本日投票を行わず可否を問うこととしたい旨の提案があり、了承された。次いで、特任教授採用について説明があり、審議の結果、承認された。

5. 附属総合研究機構「i-Construction システム学」寄付講座担当特任教授(短時間)に関する件(第3回)

研究科長から、現所属講座の設置期間の更新に伴う特任教授の再採用であることを勘案し、特例として本日投票を行わず可否を問うこととしたい旨の提案があり、了承された。次いで、特任教授(短時間)採用について説明があり、審議の結果、承認された。

6. 連携研究機構「災害・復興知連携研究機構」教授兼務(新規)の件

研究科長から、当該専攻が推薦する候補者が本研究科の教授であることを勘案し、特例として本日投票を行わず可否を問うこととしたい旨の提案があり、了承された。次いで、教授兼務(新規)について説明があり、審議の結果、承認された。

7. 連携研究機構「エネルギー総合学連携研究機構」教授兼務(新規)の件

研究科長から、当該センターが推薦する候補者が本研究科の教授であることを勘案し、特例として本日投票を行わず可否を問うこととしたい旨の提案があり、了承された。次いで、教授兼務(新規)について説明があり、審議の結果、承認された。

8. 特任教授兼務(新規)の件(3件)

研究科長から、当該専攻が推薦する候補者が本研究科の教授であること、現所属講座の設置期間の更新に伴う特任教授兼務の更新であることを勘案し、特例として本日投票を行わず可否を問うこととしたい旨の提案があり、了承された。次いで、特任教授兼務(新規)(3件)について説明があり、審議の結果、承認された。

9. その他 なし。